



比べるのはデータだけ。

自分を傷つけるだけなら、

他人と比較しない!

ひらた はるな  
平田 晴菜 さん

富山商船高専(現富山高専射水キャンパス)  
情報工学科卒業  
長岡技術科学大学 生物機能工学課程3年次編入～  
同学大学院 生物統合工学専攻(博士課程)修了  
(株)キタック 環境技術センター環境分析課にて勤務。

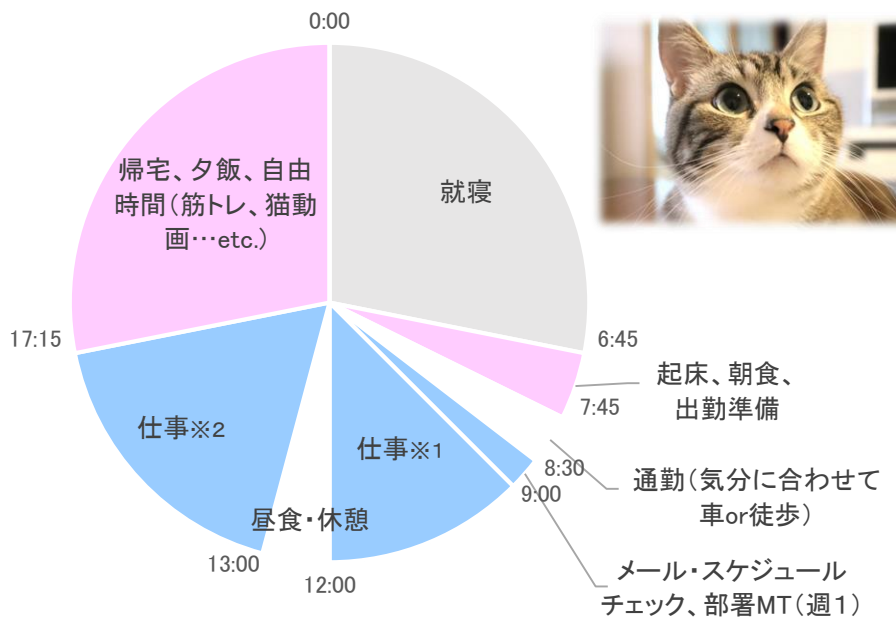
✓平田さんの 日々のルーティン



**仕事**は土壌や水質調査  
関連が主で、計画～調査～  
報告書作成まで多岐に渡り  
ます。

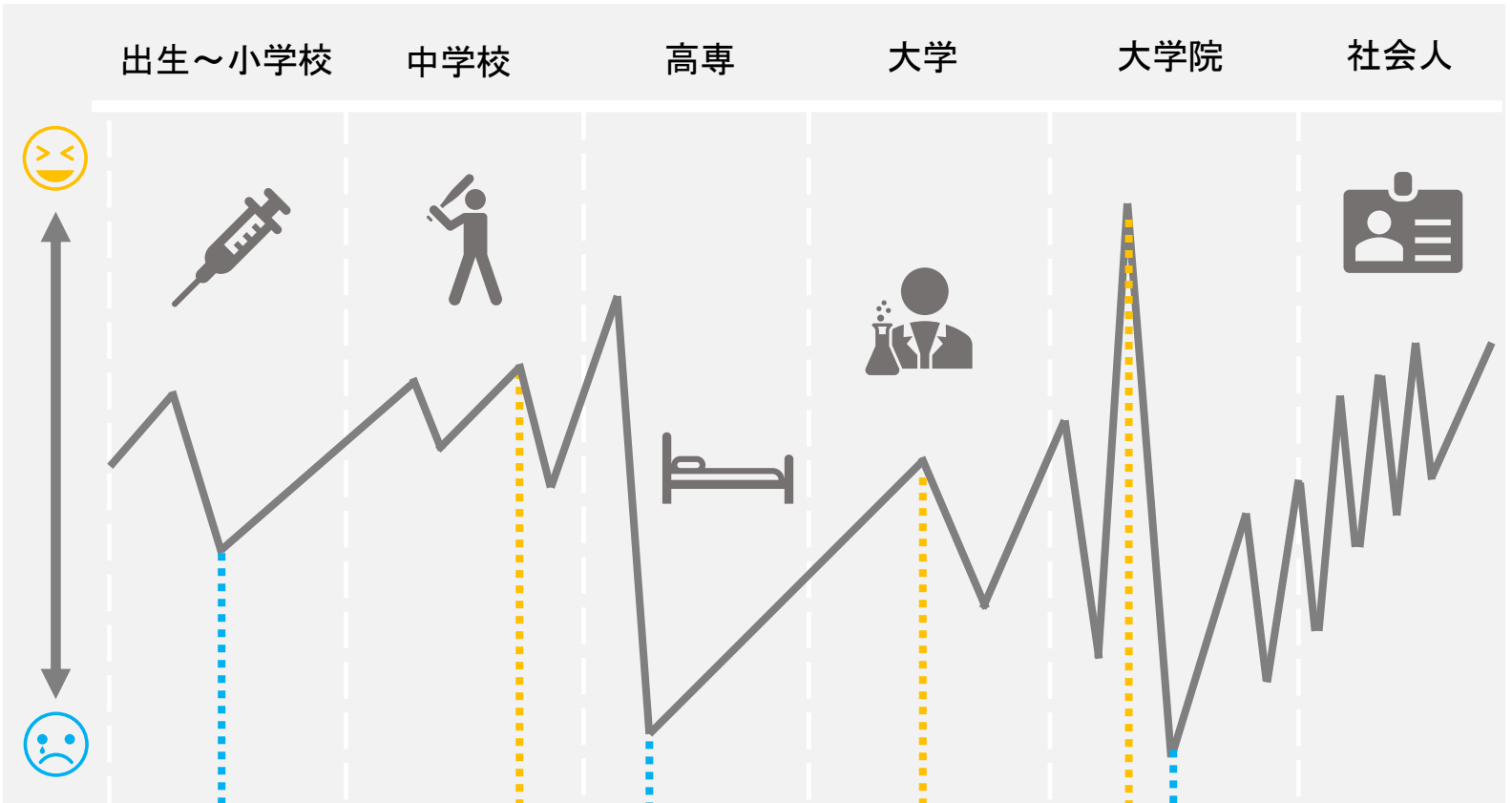
**こ**だわるべき所はこだわり、  
そうでない所は、(成果の  
品質を落とさないことを前提  
に)少し遊び要素を入れて  
考えてみたりと柔軟さを意識  
しています。

**私**生活では、古傷や持病  
の関係で、セルフケアが  
大切になるので、仕事との  
バランスは常日頃から意識  
するようにしています。



※1 ...分析(前処理)、現場作業(サンプリングや調査)、資料作成、打合せ(社内外)  
※2 ...分析(測定)、現場作業(サンプリングや調査)、資料作成、打合せ(社内外)、課内MT・資格勉強会(各々週1)

# ✓平田さん “私のライフチャート”



## 出来事

3人兄妹の末っ子。細身な兄、姉に比べて立派な体格に恵まれる。

ソフトボール部で4番内野手。試合前日は必ず母(経験者)とバッティングセンターで練習するのが決まり事。

膝の怪我に加えて、19歳で右大脳半球先天性脳動脈瘤奇形(海綿状血管腫)が見つかりました。

初めての一人暮らし。少しの寂しさ、一人の気楽さを楽しみながら過ごしていました。

自分の研究テーマが本格的に始動。実務訓練での経験のおかげで研究が楽しい♪

博士課程修了後、半年ほど就活しながらバイトで食いつなが。奨学金の返済も始まり、マジで仕事に就かないとヤバい!!

## 影響を受けた出来事

右眼の手術で病院で過ごす。将来の夢は「看護婦さんになって、痛くない注射を打つこと」。

勉強嫌いで進路相談で「大学なんか行くくらいなら、働いてお金を貯める」宣言。技術が必要と思い、高専に進学。

17歳夏、体育で行った柔道を続けて、近所の道場に通い初めて2回目、右膝の前十字靭帯断裂。

実務訓練で理化学研究所BSIにて4ヵ月滞在。研究の進め方、面白さを知りました。

修士の就活中、東日本大震災が起きて活動Stop。その合間に実験をすると楽しい! 博士行こうかなあ...先輩達から情報収集開始!

就活するも、高学歴や持病を理由に不採用が続く。現在の社長だけは「やってみなきゃわからないじゃない!」と受け入れてくださった。

## 成功体験

ドラゴンボールに憧れ、小学1~6年生で空手を習う。初段取得。

ソフトボールで春季北信越大会3位。3年生では県選抜代表に選出されました。

初めて“単位”“留年”という概念を知り、恐怖で勉強していたおかげで、成績は5年間上位をキープ。

理研BSIで行った実験結果が後に論文に使用され、初めての論文実績となりました。

博士2年、国立遺伝学研究所にて小出剛先生、高橋阿貴先生と共同研究開始。論文を書き上げて博士号取得。

仕事をする中で、学生の間に培った様々な能力が役立ち、入社5年も経たずに係長任命!?(人手不足もある)

## 失敗体験

5歳、保育園の友達にハサミで右腕を切られ、嫁入り前の肌に傷が残る。6歳、右眼が先天性白内障。手術するも、現在も視力はほとんどない。

打者はともかく野手としてはボンコツ。右眼が機能しないせいか距離感が疎く、反射神経もまいち...

右膝の靭帯再建手術・リハビリ後、まともなトレーニングもしないまま運動を再開し左膝の前十字靭帯も切る。

実務訓練中、授業で習った基本的な知識すら答えられず、初めは毎日怒られて早く帰りたいかった...

博士2年、左眼の眼圧が正常値を超過、視神経も細いと言われ、緑内障を危惧される。研究者の道を諦めるきっかけに...

会社から求められる仕事と身体(特に眼)のバランスに苦しむことが多々あります。

## ✓平田さんに いろいろお聞きしました!

### 今のこの仕事(職業)を選んだきっかけは?

友達がいることを理由に新潟県内に絞って就活をしていました。その中では、持病や学歴が理由で「ここしか受け入れてもらえなかった」が正しいです。今とは別の会社の面接を受けた際、「採用はできないが、良い人材を探している会社があるから受けてみてはどうか?」と今の会社を紹介していただきました。

仕事内容も環境調査、化学分析と分野が異なりましたが、研究(実験)の経験は役立つと思い、受けてみることにしました(何より親からの圧力や生活がかかっていた! )。

### この仕事を続けていてよかったと思うところはありますか?

何気ない日常で起きていることの意味を知れることです。普段は、「自分の周りが平和なら何でもいいや」という考えなので、ニュースや新聞には見向きもしません。

しかし仕事をする時は、お客様の都合(工事や行政、民間事情)を考慮しなければいけないので、仕事をする中で、それらの意味を自然と知ることができ、自分の視野が広がります。

### ロールモデルを教えてください

特にコレ! という物はありません。自分と同じ境遇の人は少ないため、その時の状況次第で、自分が1番後悔しないと思う道を選んでいきます。

### 学生時代の自分を振り返って

中学生までは、人見知りが激しく、病院などに行っても母親経由で質問するような子でした。大学編入で親元を離れることが決まってからは、「自分でやらなきゃ! 」と思う反面、心配性な親の干渉に甘えたり、反発しても世間知らずでできない自分にヤキモキしていました。

大学からは徐々に自立し、特に博士課程では自分から考えて動かなければいけなかったため、苦労しましたが、それが今に繋がる貴重な経験だったと思っています。

### ワークライフバランスについて教えてください

私の身体は古傷と持病があるため、適度にセルフケア(筋トレ、眼を休める、ストレスを溜め過ぎない等)が必要です。その状態で、「自分で成果を出す」研究者と、「チームで分け合って達成する」企業を天秤にかけ、自分の身体をケアできる、何かあった時でも生活に苦労しないことを考えた時、研究者よりも企業で働くことを選びました。

ただ企業で働いても求められる事は多いので、無理のない体制を提案したり、順番に部下を指導して知識や技術を伝えたりすることで、仕事を分け合い、お互いにワークライフバランスを取るようになっています。

仕事以外では料理教室に行ったり自分で料理する、ジムに行ったり膝の筋力を鍛える、家では必ず湯船に浸かって体を温めるなど、何気ない事ですが義務感を持たなくて良い範囲でやるようになっています。

研究者を選ばなかった事に、色々と言われることもありましたが、学生の時に許された時間の限り必死に取り組んだので後悔は少なく、今をととても楽しんでいます。



## 社会に出る前の皆さんへメッセージをお願いします!

「〇〇のせい」になるのか、「〇〇のおかげ」になるかは自分次第。自身と向き合い、自分を充実させるための選択をしてください!